



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月11日

上場会社名 カバー株式会社 上場取引所 東
コード番号 5253 URL <https://cover-corp.com>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 谷郷 元昭
問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO（氏名） 金子 陽亮（TEL）03(6280)4036
半期報告書提出予定日 2025年11月11日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	21,754	27.2	2,666	△20.9	2,674	△19.0	1,999	△5.7
2025年3月期中間期	17,104	39.3	3,372	46.3	3,301	42.8	2,120	28.0

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	30.46	29.82
2025年3月期中間期	34.21	31.68

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	33,080	18,947	57.3
2025年3月期	33,060	16,947	51.3

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 18,946百万円 2025年3月期 16,946百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,500	21.0	8,200	2.5	8,200	3.0	5,700	2.5	86.82

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 予想1株当たり当期純利益は、予想当期純利益を2025年3月期末の発行済普通株式数（自己株式除く）で除して算出しております。

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期中間期	65,650,100株	2025年3月期	65,650,100株
2026年3月期中間期	84株	2025年3月期	84株
2026年3月期中間期	65,650,016株	2025年3月期中間期	61,991,783株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社はミッションとして「つくろう。世界が愛するカルチャーを。」を掲げ、日本発のエンターテインメント・カルチャーを作り出し世界中のユーザーに広めていくことにより、日本のユニークな強みであるアニメ、ゲームといった文化に関わるクリエイターの活動の場を増やしていくことを目指しております。

当中間会計期間につきましては、夏季期間のライブ・イベントや「hololive OFFICIAL CARD GAME」、外部デベロッパーとのゲーム共同制作案件を含む国内外でのライセンス・タイアップ案件などが好調に推移しました。一方で、北米関税の影響や、商品販売チャネル間での代替効果などにより自社EC売上の成長が一時的に鈍化したことに加え、昨年以前に生産した商品を中心とする在庫の評価減が影響し、前年同期比で増収減益となりました。

また、表現技術の向上、物流体制の改善、海外事業開発の強化など、中長期的な成長基盤の強化に向けた取り組みを引き続き積極的に進めております。これらの先行投資的な支出は営業利益率を一時的に押し下げておりますが、将来の持続的な成長に向けた重要なステップと位置づけております。

サービス分野別の業績は、次のとおりです。

配信/コンテンツ分野におきましては、2025年7月を通じて実施した、各言語・地域グループを横断した配信を中心とする大型企画『ホロナツパラダイス』がトレンド形成に寄与したほか、各タレントによるミュージックビデオなどのアセット型コンテンツが、積み上げ型の継続的な集客経路として機能しました。その結果、同分野の売上高は4,474百万円(前年同期比6.0%増)となりました。

ライブ/イベント分野におきましては、天音かなた1stソロライブコンサート『LOCK ON』や大神ミオ1stソロライブコンサート『Our Sparkle』など、アリーナ規模のライブコンサートが複数開催されたことに加え、英語圏向けVTuberグループ「ホロライブEnglish」による全体ライブ『hololive English 3rd Concert -All for One-』がニューヨークのRadio City Music Hallで開催され、現地におけるブランド力の強化に寄与しました。その結果、同分野の売上高は2,356百万円(同57.7%増)となりました。

マーチャンダイジング分野におきましては、トレーディングカードゲームや小売店での売上拡大が好調に推移する一方、北米関税の影響や短期的な販売チャネル間の売上代替により、EC売上の成長が鈍化しました。また、トレーディングカード分野においては、競技プレイヤーからカジュアルプレイヤーまで幅広い層の取り込みを図り、大会施策を実施したほか、タレントとのPR連携により、ファンコミュニティ間での相互送客も進めました。その結果、同分野の売上高は11,678百万円(同32.5%増)となりました。

ライセンス/タイアップ分野においては、国内では渋谷・池袋・東京・有明などで夏季休暇期間の人流を捉えたポップアップイベントを集中的に実施したほか、海外ではロサンゼルス・ドジャースとのコラボレーションイベントを2年連続で開催しました。これらの施策により、ブランドの一般認知が拡大するとともに、ファンコミュニティにおけるエンゲージメント向上にも寄与しました。また、ゲーム関連収益についても、中小規模タイトルのみの貢献で四半期あたり2億円超を計上するなど、着実に存在感を高めてまいります。その結果、同分野の売上高は3,244百万円(同25.7%増)となりました。

以上の結果、当中間会計期間における売上高は21,754百万円(同27.2%増)、営業利益は2,666百万円(同20.9%減)、経常利益は2,674百万円(同19.0%減)、中間純利益は1,999百万円(同5.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間会計期間末における資産合計は、前事業年度末より20百万円増加し、33,080百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加1,558百万円、ソフトウェア勘定を中心とした無形固定資産の増加455百万円、売掛金の減少1,179百万円、商品の減少562百万円によるものであります。

(負債)

当中間会計期間末における負債合計は、前事業年度末より1,979百万円減少し、14,133百万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少753百万円及び買掛金の減少705百万円によるものであります。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産合計は、前事業年度末より1,999百万円増加し、18,947百万円となりました。これは、利益剰余金が1,999百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。))は、前事業年度末に比べ1,558百万円増加し、13,056百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間において営業活動により獲得した資金は2,953百万円(前年同期は2,903百万円の獲得)となりました。これは主に、増加要因として、税引前中間純利益2,637百万円の計上、売上債権の減少による収入1,179百万円、減価償却費712百万円の計上があった一方で、減少要因として、法人税等の支払による支出1,453百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間において投資活動により支出した資金は1,391百万円(前年同期は1,315百万円の支出)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出1,094百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間において財務活動による資金の増減はありませんでした(前年同期は59百万円の収入)。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績見通しにつきましては、2025年5月13日に発表した通期業績予想から変更はございません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,498	13,056
売掛金	5,417	4,238
商品	3,131	2,568
前払費用	627	369
未収入金	1,894	1,676
その他	327	388
貸倒引当金	△24	△19
流動資産合計	22,872	22,278
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	2,330	2,364
工具、器具及び備品（純額）	1,788	1,727
建設仮勘定	-	2
有形固定資産合計	4,119	4,094
無形固定資産		
特許権	35	59
商標権	75	102
ソフトウェア	3,225	3,663
ソフトウェア仮勘定	739	704
無形固定資産合計	4,075	4,530
投資その他の資産		
関係会社株式	146	146
出資金	54	107
差入保証金	1,123	1,142
繰延税金資産	634	737
その他	33	42
投資その他の資産合計	1,992	2,176
固定資産合計	10,187	10,801
資産合計	33,060	33,080

(単位: 百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,695	1,989
未払金	69	7
未払費用	1,343	1,011
未払法人税等	1,557	803
前受金	7,964	7,979
預り金	116	136
賞与引当金	547	443
諸外国間接税引当金	350	349
その他	482	387
流動負債合計	15,128	13,107
固定負債		
資産除去債務	984	1,025
固定負債合計	984	1,025
負債合計	16,112	14,133
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,096	1,096
資本剰余金		
資本準備金	1,093	1,093
資本剰余金合計	1,093	1,093
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	14,756	16,756
利益剰余金合計	14,756	16,756
自己株式	△0	△0
株主資本合計	16,946	18,946
新株予約権	0	0
純資産合計	16,947	18,947
負債純資産合計	33,060	33,080

(2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	17,104	21,754
売上原価	8,021	11,180
売上総利益	9,083	10,573
販売費及び一般管理費	5,710	7,907
営業利益	3,372	2,666
営業外収益		
受取利息	0	10
受取和解金	49	0
その他	2	7
営業外収益合計	52	18
営業外費用		
支払和解金	32	-
為替差損	86	9
その他	4	0
営業外費用合計	123	10
経常利益	3,301	2,674
特別損失		
固定資産除却損	-	36
減損損失	11	-
諸外国間接税引当金繰入額	450	-
特別損失合計	461	36
税引前中間純利益	2,840	2,637
法人税、住民税及び事業税	890	740
法人税等調整額	△170	△102
法人税等合計	719	638
中間純利益	2,120	1,999

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	2,840	2,637
減価償却費	299	712
減損損失	11	-
諸外国間接税引当金繰入額	450	-
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△5
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△35	△104
受取利息	△0	△10
固定資産除却損	-	36
売上債権の増減額 (△は増加)	1,011	1,179
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,808	562
未収入金の増減額 (△は増加)	△949	215
仕入債務の増減額 (△は減少)	△485	△705
未払費用の増減額 (△は減少)	△208	△143
前受金の増減額 (△は減少)	3,282	14
その他	△426	7
小計	3,979	4,396
利息の受取額	0	10
法人税等の支払額	△1,076	△1,453
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,903	2,953
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△310	△229
無形固定資産の取得による支出	△955	△1,094
出資金の払込による支出	△55	△50
差入保証金の差入による支出	-	△20
差入保証金の回収による収入	-	2
その他	5	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,315	△1,391
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	59	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	59	-
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,646	1,558
現金及び現金同等物の期首残高	8,666	11,498
現金及び現金同等物の中間期末残高	10,312	13,056

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。